



紀泉高原国有林 木製床固工



「小林式誘引捕獲法」自治体等への実演指導



伐採から植付までの一貫作業

令和8年度 和歌山森林管理署重点取組事項



和歌山県農林大学校の現地指導



省力・低コスト造林技術の普及に向けた研修会



小学生を対象とした森林教室

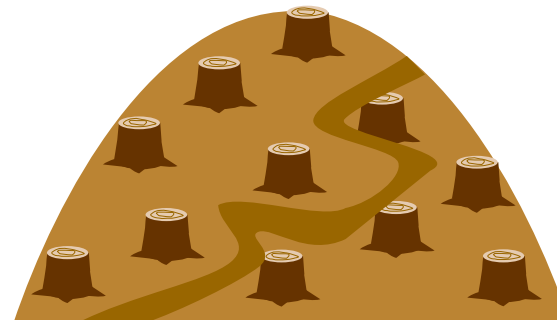


**林野庁 近畿中国森林管理局
和歌山森林管理署**

令和8年度 和歌山森林管理署重点取組事項について

目次

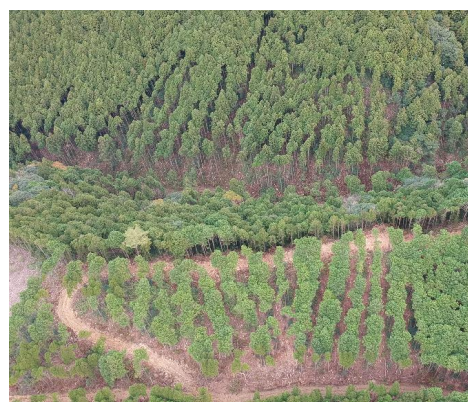
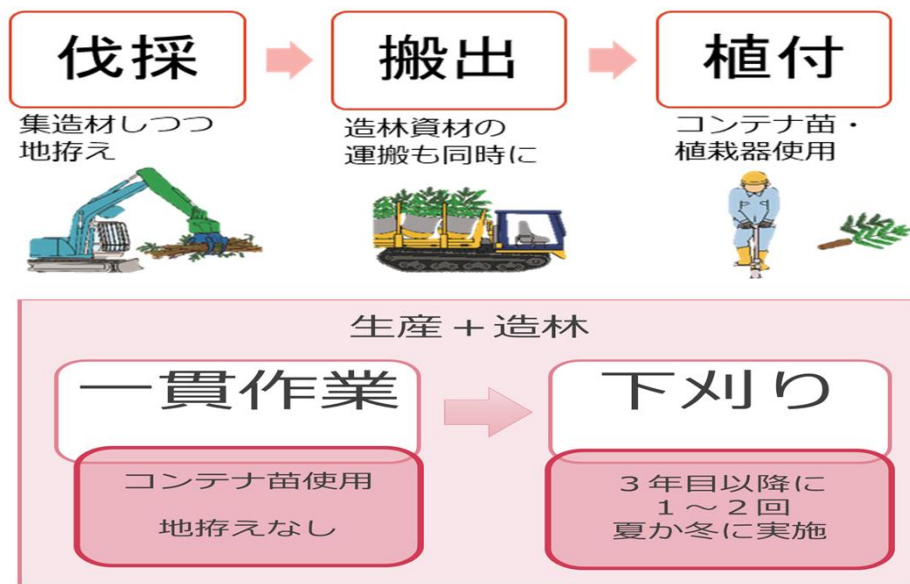
- | | | |
|---|---------------|-----|
| 1 | 森林・林業施策推進への貢献 | P 1 |
| 2 | 公益重視の管理経営 | P 4 |
| 3 | 民国連携及び民有林支援 | P 8 |



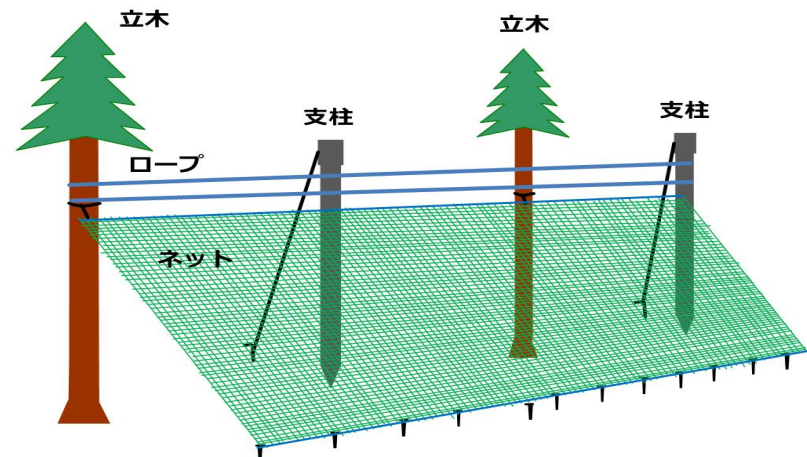
- 伐採から再造林・保育に至るまでの収支のプラス転換の実現に向け、作業の低コスト化や省力化を目指し、引き続き、現場実証に取り組めます。

伐採と造林の一貫作業システムの推進

主伐と再造林を一貫作業システム化することで、作業の効率化、低コスト化による循環型作業を目指します。



シカ防護対策



「アニマルネット」を使用した低コスト防護柵

- 国有林のフィールドを活かし、「**超緩効性肥料を用いたエリートツリー等コンテナ苗の活用**」試験を開始します。植栽後も効果を発揮する超緩効性肥料を用いたエリートツリー等コンテナ苗の成長促進効果、植栽適地等の検証を行うとともに、実用化を念頭に再生林の低コスト化の可能性について検証を行い、得られた成果を民有林関係者へ民有林関係者へ発信します。

植栽後も効果を発揮する超緩効性肥料を用いたエリートツリー等コンテナ苗の成長促進効果、植栽適地等の検証を行うとともに、実用化を念頭に再生林の低コスト化の可能性について検証を実施します。



和歌山県田辺市笠塔山国有林19い2林小班1.29ha
試験地の設定状況

- ①超緩効性肥料あり
特定苗木。ハイコントロール650（N16-P5-K10、700日タイプ、肥料100g/培土10ℓ）を使用し、コンテナ移植時に培地に混ぜる。
- ②超緩効性肥料なし
特定苗木。肥料は、種苗業者が通常使用するハイコントロール085（360日タイプ）。
- ③普通苗木
第一世代精英樹。肥料は、種苗業者が通常使用するハイコントロール085（360日タイプ）。

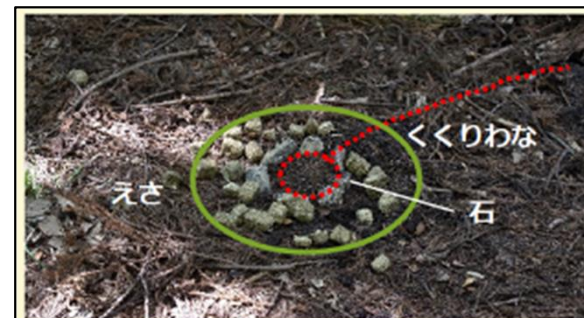


- 効率的な捕獲技術を普及するとともに、捕獲個体の処理方法についても実証します。
- 地域の協議会等と協定を締結したうえで、わなの貸し出し、捕獲を推進することで、鳥獣害被害の軽減に取り組めます。

小林式誘引捕獲法の普及

【くくりわなを使用した新たなシカ誘引捕獲法】

「くくりわな」の周囲に石や誘引するための餌をドーナツ状に設置し、前足がわなにかかりやすくなるよう工夫することで、シカに警戒されにくく、初心者でも簡単に効率よく捕獲する手法。



▲ 設置の様子
(わなの周囲を石で囲み、さらにドーナツ状に餌をまく)

大型排水管を用いた残渣処理の実証

「大型排水管を用いた捕獲個体の残渣減容化処理」について、引き続き実証を行うとともに、問い合わせのあった自治体等へ資料の送付や、現地視察の受け入れを行います。

※令和7年度現地案内を実施した道府県、市町村等

和歌山県 紀美野町役場

和歌山県 印南町役場

和歌山県 湯浅町役場

佐賀県庁 佐賀県 唐津市役所

北海道 厚真町役場、福井県 鯖江市外



市町村	協定名称
総本山金剛峯寺 高野山寺領森林組合	高野山地域におけるシカ被害防護対策推進協定
高野町	二ホンシカ等指定管理鳥獣被害対策推進協定
有田川町	有田川地域におけるシカ被害防護対策推進協定
印南町	印南地域におけるシカ被害防護対策推進協定
すさみ町	すさみ地域におけるシカ被害防護対策推進協定
日高川町	日高川地域におけるシカ被害防護対策推進協定
上富田町	上富田地域におけるシカ被害防護対策推進協定
新宮市	新宮地域におけるシカ被害防護対策推進協定
田辺市	田辺地域におけるシカ被害防護対策推進協定
みなべ町	みなべ地域における有害鳥獣被害対策推進協定
北山村	北山地域における有害鳥獣被害対策推進協定

- 近年、頻発化・激甚化する自然災害の早期復旧に取り組み、地域の安全・安心を確保するため、流域治水と連携した国土強靱化対策を推進します。特に、平成23年の紀伊半島大水害により県の要請を受けて実施している民有林直轄治山事業及び国有林における大規模被災箇所等の着実な復旧に取り組みます。

民有林直轄治山事業の着実な実施

紀伊半島南部の和歌山県田辺市において実行中の民有林直轄治山事業について田辺市・和歌山県・国が一体となって災害の復旧に取り組みます。



【斜面補強ネット工】
(田辺市 紀伊田辺地区：上秋津区域)



【山腹工】しものたににしがわ
(田辺市 紀伊田辺地区：下モ谷西側区域)



【山腹工】ほんだがいと
(田辺市 紀伊田辺地区：本田垣内区域)



【山腹工】かみへいじがわ
(田辺市 紀伊田辺地区：上平治川区域)

流域治水と連携した取り組み

流域治水と連携した取組として、国土交通省や地元自治体等と技術交流会等を実施し、技術力向上に努めます。



関係機関との警戒監視体制の確認
(田辺市 紀伊田辺地区：上秋津区域)



現地検討会
(田辺市 紀伊田辺地区：下モ谷西側区域)

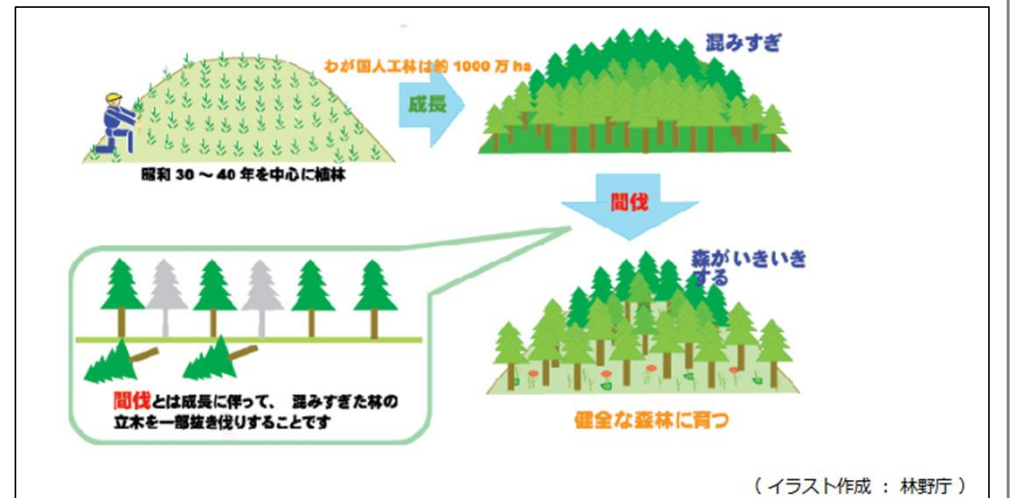
②森林整備の着実な実施

- 間伐等の森林整備を着実に実施し、国有林の多面的機能の発揮を図ります。
- 花粉症対策に向けて、伐採と花粉の少ない苗木への植替えを推進します。

間伐の実施

地球温暖化対策として、計画的な間伐を実施します。

計画区	計画期間	間伐面積(ha)
紀南	R6.4.1~R16.3.31	2,874
紀北	R4.4.1~R14.3.31	1,058
紀中	R3.4.1~R13.3.31	1,018



花粉の少ない森林への転換

スギ人工林伐採重点区域を含む市町村内の国有林を「重点区域に準じた国有林」とし、伐採と花粉の少ない苗木への植替えを推進します。

和歌山県内の「スギ人工林伐採重点区域市町村」：
和歌山市、海南市、紀美野町、紀の川市、岩出市、橋本市、かつらぎ町、九度山町、高野町、湯浅町、広川町、有田川町、御坊市、日高町、由良町、日高川町

花粉発生源対策

政府の花粉症対策は、「発生源対策」「飛散対策」「発症・ばく露対策」。

林野庁は「発生源対策」として、「伐って、使って、植えて、育てる」森林資源の循環利用を推進し、花粉発生源となるスギの人工林を、10年後に約2割減少させることを目指し、花粉の少ない森林への転換を進めます。

スギ人工林の現状と将来

0% 60% 80%
現状 (R2)
対策を講じた10年後 (R13)
対策を講じた30年後 (R35)

スギ人工林の半数以上が利用期(林齢50年生産)を超えている

10年後(2割減) 30年後(半減)

(花粉の少ないスギの人工林面積は緑)

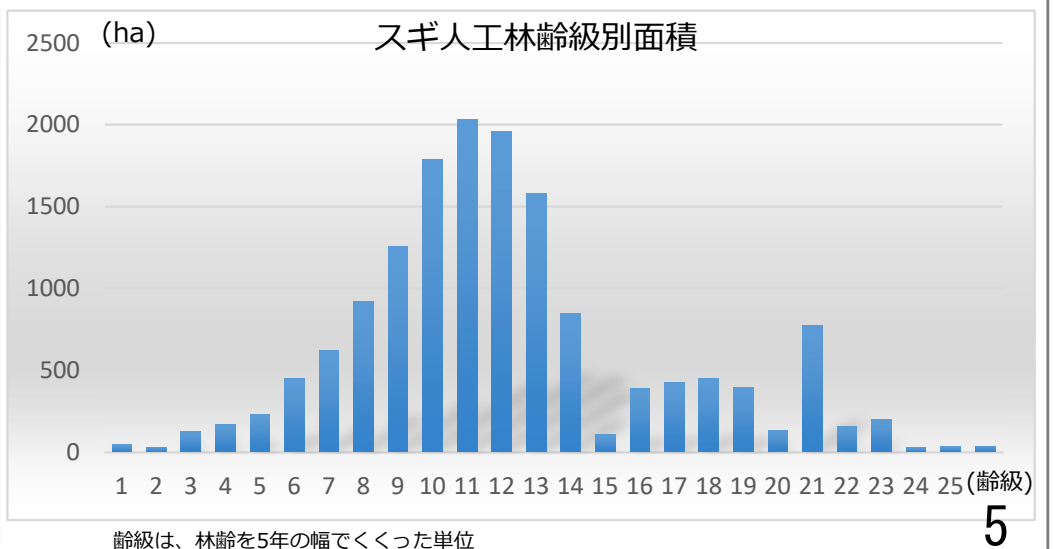
伐る
伐採・植替え等の加速化
都市周辺のスギ人工林伐採重点区域において、集中的に伐採・植替えを推進。

使う
スギ材需要の拡大
スギを使った製品の開発や、地域の工務店によるスギの利用を促進。

植える
花粉の少ない苗木の生産拡大
植替えに必要な「花粉の少ない苗木」の生産施設の整備や、品種開発を実施。

育てる
生産性向上と労働力の確保
植替えの促進のため、高性能林業機械の導入を支援し、建設業等と連携し労働力を確保。

森林資源の循環利用



- 国産材の需要の拡大、加工・流通の合理化等に取り組む木材需要者（製材工場等）と協定を締結し、木材を安定供給する「安定供給システム販売」に取り組めます。
- 民有林からの供給が期待しにくい林産物である檜皮（ひわだ）の供給に引き続き取り組めます。

安定供給システム販売



協定に基づき、木材需要者へ丸太などを安定的に供給

○和歌山森林管理署システム販売の推移

年度	製品販売	システム	割合
4	7,900	6,360	81%
5	10,000	6,165	62%
6	9,200	6,945	75%
7	11,490	6,845	60%
8	11,440	7,850	67%

檜皮の供給

歴史的木造建築物等の修復に必要な檜皮を供給するため、「檜皮の森」を設定し、育成しています。



【原皮師と採取した檜皮（ひわだ）】
（新宮市 権現山（ごんげんさん）国有林）



※使用イメージ



採取の様子

（檜皮採取）

東牟婁郡那智勝浦町 妙法山国有林

（101い林小班 5.94ha）

R2 採取数量 2,245kg

R3 採取数量 1,013kg

新宮市新宮 権現山国有林

（102ろ林小班外 21.56ha）

R5 採取数量 1,730kg

R6 採取数量 2,400kg

R7 採取数量 1,102kg

- 原始的な天然林や遺伝資源の保存等のために設定した「保護林」について、適切な保護・管理を行います。

保護林名称	国有林 面積 (ha)	特徴等
高野山コウヤマキ希少個体群保護林	高野山 30.47	希少なコウヤマキ個体群の保護
西ノ河モミ・ツガ・ブナ遺伝資源希少個体群保護林	西ノ河 84.76	南海型気候帯に属する高年齢級のモミ・ツガ・ブナ天然林を保護し、林木の遺伝資源の保存
黒蔵谷生物群集保護林	大杉大小屋 黒蔵谷 515.87	暖温帯照葉樹林域の中に冷温帯落葉樹林が見られる等、日本の植物分布を考えるうえで、貴重な森林の保護
大越モミ・ツガ・アカガシ等遺伝資源希少個体群保護林	大越 240.33	モミ・ツガ・アラカシ、アカガシ・アカシデの遺伝資源の保存
大塔山照葉樹林希少個体群保護林	大塔山 56.76	アカガシ、シラカシ、シイ等の照葉樹林の保護
大塔山モミ・ツガ・ブナ 希少個体群保護林	大塔山 29.57	モミ・ツガ・ブナの天然林の保護
亀谷ツガ・ブナ希少個体群保護林	亀谷 215.81	ツガ・ブナの天然林の保護



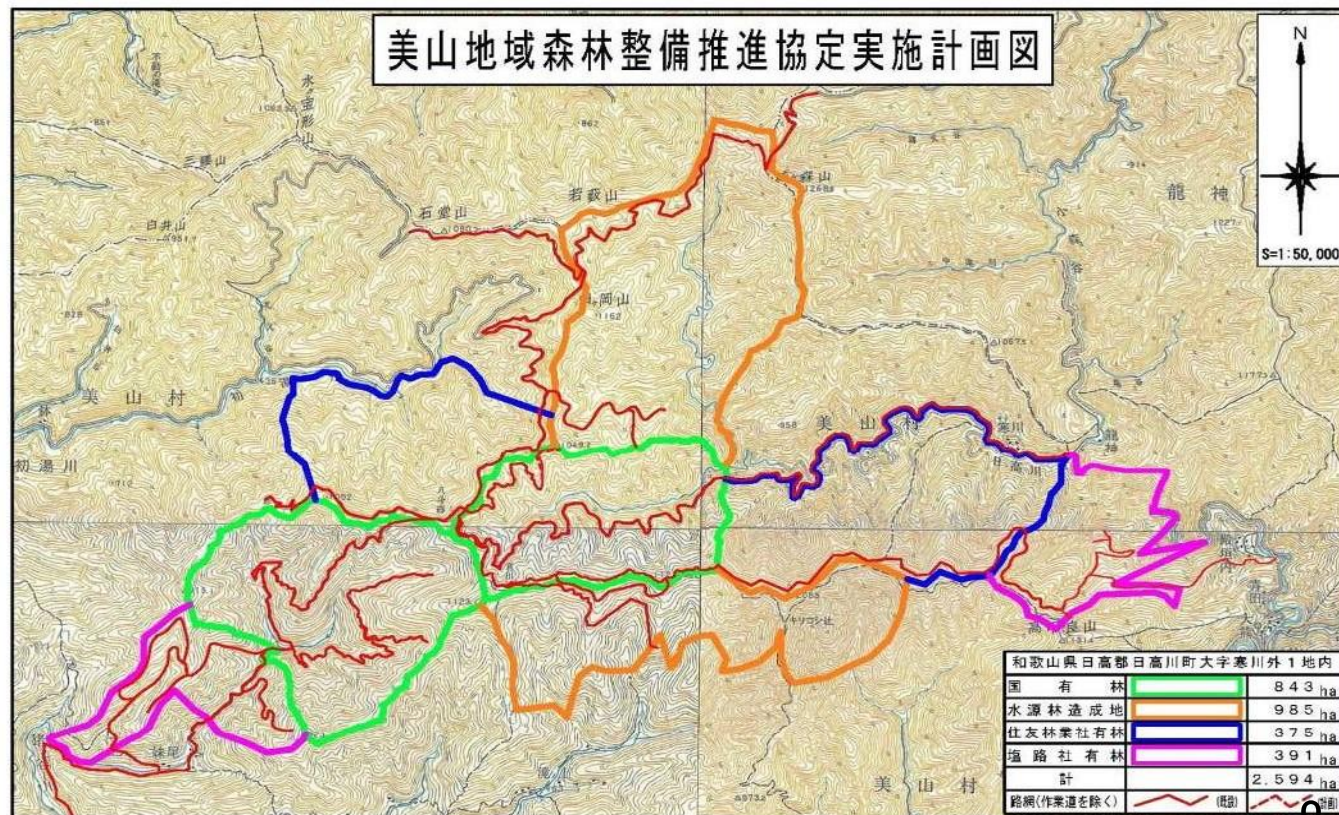
- 国有林と民有林が近接している地域で、国有林と民有林が連携して森林整備に取り組む「**森林共同施業団地**」において、地域における効率的な森林整備の実現に貢献します。

「美山（みやま）地域森林整備協定」（令和8.4.1～令和13.3.31）

国有林とその隣接する民有林を団地化し、一体的な施業実施が可能な区域を「森林共同施業団地」として設定し、効率的な森林施業や連携した路網整備等により、森林の多面的機能を発揮する森林整備及び木材の安定供給を目指します。

（協定相手方と協定面積）

・和歌山森林管理署	843ha
・和歌山水源林整備事務所	985ha
・住友林業株式会社 大阪森林事業所	375ha
・塩路株式会社	391ha
・紀中森林組合	—
合計	2,594ha



令和7年度
「美山地域森林整備協定運営会議」より

- 国有林のフィールド・技術・組織を活かし、現地検討会の開催を通じて、民有林関係者への技術的支援、人材育成への支援を行います。

現地検討会では、自治体や緑化メーカー、事業者等を対象に、和歌山森林管理署が開発した竹被覆工によるシカ対策やドローンを活用したシカ柵の効率的な見回り、地域苗等を使用した植栽の説明、姿勢制御機能付き電動クローラ型4輪車のデモンストレーション走行などを実施しており、引き続き新技術の普及に努めます。

(写真：令和7年度の現地検討会より)



竹被覆工とセンダンの植栽試験地
(田辺市 紀伊田辺地区：下モ谷区域)

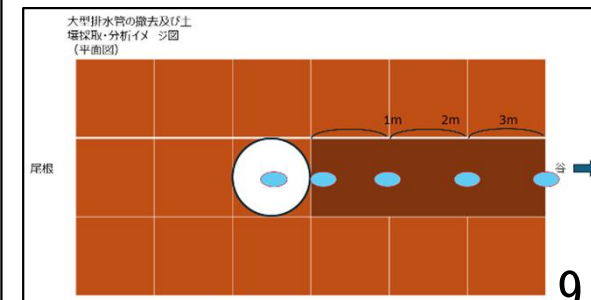
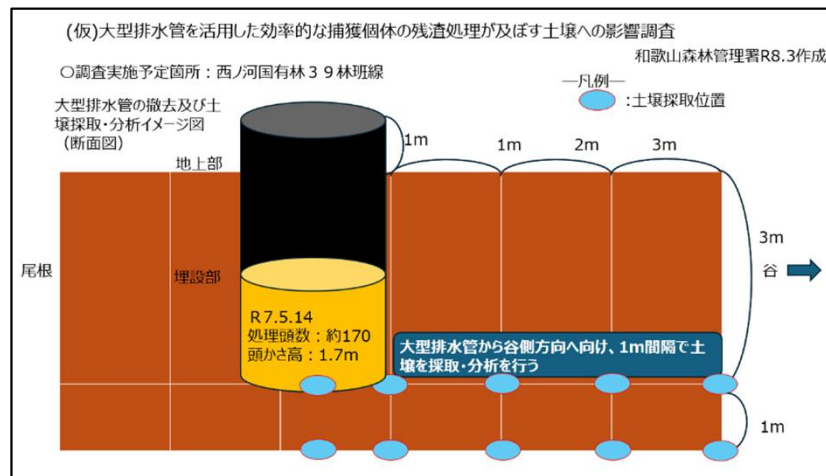


シカ柵の見回り方法を説明している様子
(田辺市 紀伊田辺地区：下モ谷区域)



姿勢制御機能付き電動クローラ型4輪車
のデモンストレーション走行
(田辺市 紀伊田辺地区：下モ谷区域)

令和8年度の現地検討会では、大型排水管を用いたシカの残渣処理について、排水管を埋設してから約5年経過した状況をご覧いただくこととしています。詳細につきましては、近畿中国森林管理局のHPで公表します。



主要事業量内訳

区分	項目	単位	令和8年度主要事業量 (年度当初予定)
収穫	主伐	千m ³	194.6
	間伐	千m ³	17.7
販売	立木販売	千m ³	187.3
	製品販売	千m ³	11.4
造林	地拵え	ha	8.0
	植付	ha	10.5
	下刈り	ha	15.0
	つる切・除伐	ha	46.6
	保育間伐（活用型・存置型）	ha	108.8
	保育間伐（本数調整伐）	ha	—
林道	林道新設	m	—
	改良	m	—
治山事業	国有林直轄治山	百万円	268.0
	民有林直轄治山	百万円	1,277.7

- ①事業量（年度当初予定）には、前年度の繰越事業量を含みます。
- ②収穫量、立木販売量には、分収林の民収分の数量を含みます。
- ③林道には、林業専用道を含みます。
- ④治山事業費には、災害復旧事業費を含みます。
- ⑤単位未満の四捨五入により、計と内訳が一致しない場合があります。



（小面積・モザイク状の森林施業）
【田辺市 黒蔵谷（くろぞうだに）国有林】

和歌山森林管理署 管内マップ



- 凡例**
- 森林管理署
 - ▲ 森林事務所
 - 治山事務所
 - 森林事務所界
 - 紀北
 - 紀中
 - 紀南
 - 国有林
 - 官行造林



【問い合わせ先】

和歌山森林管理署
〒646-0011
和歌山県田辺市新庄町2345-1
TEL050(3160)6120 (IP電話)